2026 年 11 月 18 日発行

富山県感染症発生動向速報

（2026 年第 46 週分・11 月 9 日～11 月 15 日）

■今週の主な動向

〇インフルエンザの患者報告数は 2 週連続で増加しました。

県内の患者報告数は今週 12.58 人/定点となりました。第 42～44 週に一時減少しましたが、以降 2 週連続で増加しました。手洗いや咳エチケット、換気などの基本的な感染対策を継続するとともに、ワクチン接種をご検討ください。（インフルエンザの疫学所見、第 42 週インフォメーション参照）

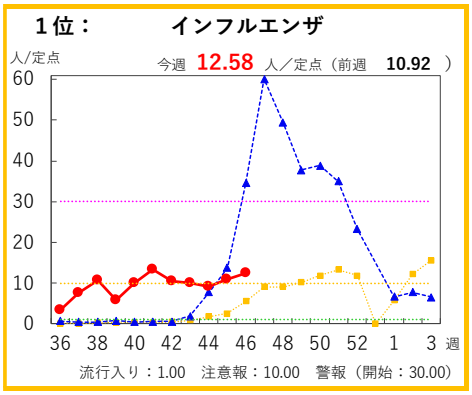
〇ヘルパンギーナの報告数が多い状況が続いています。

県内の患者報告数は今週 2.21 人/定点となり、例年より多い状況が続いています。患者の年齢は 1 歳が最も多く、5 歳以下が約 9 割を占めています。特徴的な症状として突然の高熱、口腔内の水疱、のどの痛みがみられます。小さなお子さんがいる家庭や施設では感染予防を心がけましょう。（今週のインフォメーション参照）

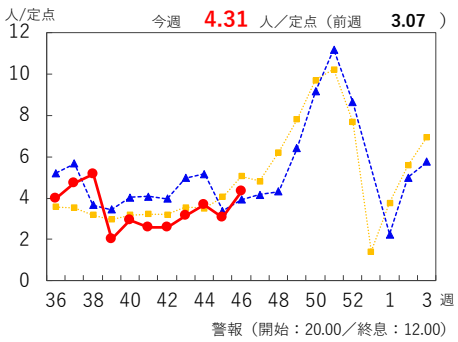
■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 5 疾患＋急性呼吸器感染症　（第 46 週・11/9～11/15）

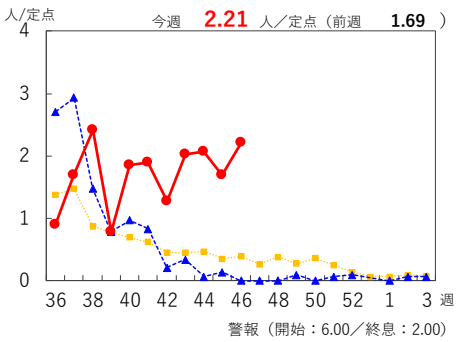
1 位：　インフルエンザ（注意報）



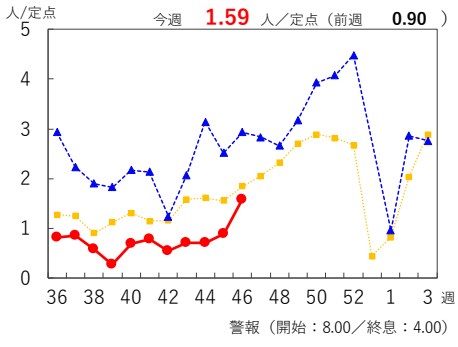
2 位：　感染性胃腸炎



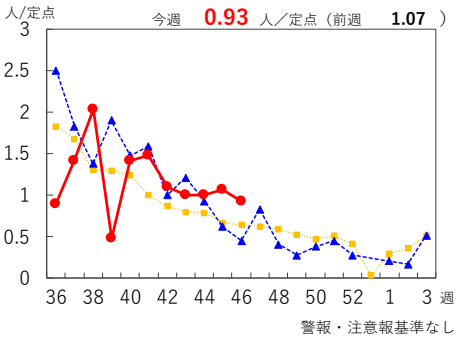
3 位：　ヘルパンギーナ



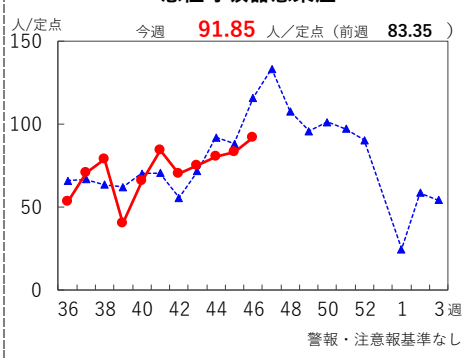
4 位：　A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

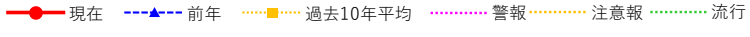


5 位：　ＲＳウイルス感染症



急性呼吸器感染症





厚生センター（保健所）管内別、直近の推移：https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/#a-6

■全数報告の感染症

二類感染症　結核　1 件（60 歳代、男性）

四類感染症　レジオネラ症　1 件（60 歳代、男性、肺炎型）

五類感染症　梅毒　1 件（第 44 週診断分：30 歳代、男性、早期顕症梅毒 II 期）

富山県

富山県感染症情報センター（富山県衛生研究所内）

TEL：0766-56-5431（直通）　HP：https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/

2026 年 11 月 18 日発行

富山県感染症発生動向速報（2026 年第 46 週分・11 月 9 日～11 月 15 日）

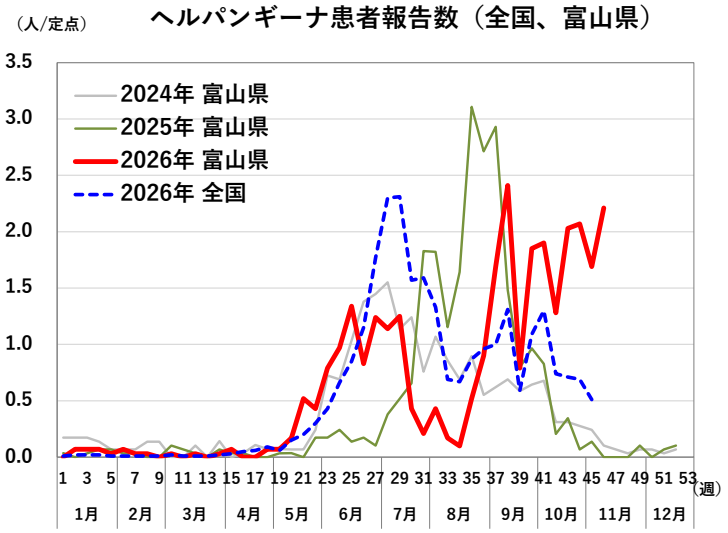


季節外れの流行
ヘルパンギーナ

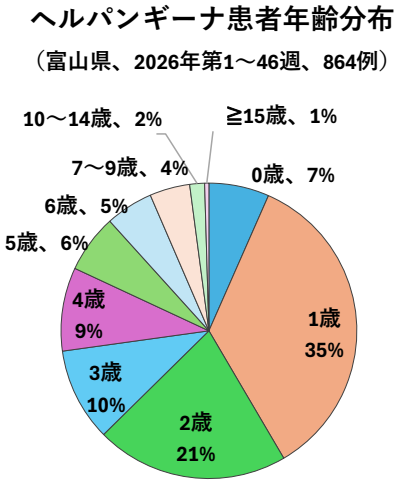
《 インフォメーション 》

●ヘルパンギーナ

ヘルパンギーナは例年、夏季に流行するいわゆる「夏かぜ」の一種です。富山県では 2026 年 6 月から 7 月にかけて流行した後、8 月下旬（第 35 週）以降に再び患者報告数が増加し、高い水準で推移しています。今週（第 46 週）の患者報告数は、2.21 人/定点となり、先週（1.69）から増加しました（上図赤線）。例年とは異なる時期に報告数が多い状況が続いていることから、引き続き動向を注視する必要があります。



ヘルパンギーナは、コクサッキーウイルス、エコーウイルスなどが原因のウイルス感染症です。患者の年齢は 1 歳が最も多く、5 歳以下の乳幼児が約 9 割を占めます（下図）。感染すると 2～4 日の潜伏期の後、突然 40 度近くの高熱がみられます。また、口腔内に水疱ができ、のどの痛みやのどの奥に発赤がみられるようになります。水疱はしばらくするとつぶれて痛むことから、十分な飲食ができずに脱水状態になることがあるため、水分補給を心がけましょう。熱は 2～4 日で下がり、一般的に経過良好な疾患ですが、発熱時にけいれんを伴う場合があるため注意が必要です。



主な感染経路は、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスによる飛沫感染や、ウイルスが手などを介して口から入る接触感染です。症状がなくなった後も、2～4 週間は便からウイルスが検出されることがあります。次のことに注意して感染を予防しましょう。

- **おむつ交換やトイレの後、調理や食事の前には石鹸で手を洗う。**
- **保育所・幼稚園などの集団生活では、タオルの共用を避ける。**
- **タオル等の消毒には、次亜塩素酸ナトリウム溶液を用いる。**
  （原因ウイルスはエンベロープを持たないため、アルコール消毒が効きにくい）

富山県

富山県感染症情報センター（富山県衛生研究所内）
TEL：0766-56-5431（直通）　HP：https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/

○感染症発生動向調査報告状況（2026年第46週 2026年11月9日～2026年11月15日）

分類		疾患	今週報告分（第46週）						累積報告数（2026年第1週（2025年12月29日）～）					
			新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
全数把握	二類感染症	結核					1	1	6	3	21	12	54	96
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く					1	1	6	1	8	6	32	53
	三類感染症	細菌性赤痢									1		1	2
		腸管出血性大腸菌感染症							3	2	12	3	16	36
	四類感染症	Ｅ型肝炎							1		1		1	3
		Ａ型肝炎										1		1
		デング熱										1	2	3
		日本紅斑熱									3			3
		マラリア											2	2
		レジオネラ症					1	1	1	4	13	4	24	46
	五類感染症	急性脳炎							2		2	1	4	9
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症									4	1	8	13
		後天性免疫不全症候群（ＨＩＶ感染症を含む）											1	1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症									2		5	7
		侵襲性髄膜炎菌感染症										1		1
		侵襲性肺炎球菌感染症							3		8	3	6	20
		水痘（入院例）							1	3	2		4	10
		多剤耐性緑膿菌感染症											1	1
		梅毒							5	2	11	3	17	38
		破傷風											1	1
		百日咳							1				7	8
		麻しん									4		4	8
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	急性呼吸器感染症（ARI）定点（48定点）	急性呼吸器感染症　（※1）	380	435	1,444	391	1,759	4,409	13,206	12,416	47,097	13,212	59,386	145,317
			54.29	87.00	111.08	55.86	109.94	91.85						
		インフルエンザ	74	66	156	82	226	604	1,884	1,536	5,075	1,986	6,779	17,260
			10.57	13.20	12.00	11.71	14.13	12.58						
		COVID-19	10	5	11	7	7	40	427	170	855	370	685	2,507
			1.43	1.00	0.85	1.00	0.44	0.83						
	小児科定点（29定点）	ＲＳウイルス感染症	1	4	13		9	27	42	33	348	91	317	831
			0.25	1.33	1.63		0.90	0.93						
		咽頭結膜熱	2	1	3			6	46	24	293	3	97	463
			0.50	0.33	0.38			0.21						
		Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1		26	3	16	46	168	212	1,544	241	1,460	3,625
			0.25		3.25	0.75	1.60	1.59						
		感染性胃腸炎	25	11	13	8	68	125	1,034	781	1,233	349	4,691	8,088
			6.25	3.67	1.63	2.00	6.80	4.31						
		水痘	2		2		2	6	10	19	83	19	128	259
			0.50		0.25		0.20	0.21						
		手足口病			9			9	48	187	842	126	1,085	2,288
					1.13			0.31						
		伝染性紅斑							8	3	26	11	14	62
		突発性発しん		1	3		6	10	9	32	143	28	162	374
				0.33	0.38		0.60	0.34						
		ヘルパンギーナ	3	6	38	7	10	64	27	160	309	60	308	864
			0.75	2.00	4.75	1.75	1.00	2.21						
		流行性耳下腺炎							3	2	5	4	15	29
	眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎									1			1
		流行性角結膜炎							12	7	26	17	2	64
	基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎											2	2
		無菌性髄膜炎							2					2
		マイコプラズマ肺炎				1		1	10		6	7	8	31
						1.00		0.20						
		クラミジア肺炎										2		2
		感染性胃腸炎（ロタウイルス）									2	1		3
	入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザ による入院患者（※2）		1	2	3	6	12	19	7	37	26	52	141
		COVID-19　　による入院患者					2	2	27	20	9	14	72	142

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 急性呼吸器感染症は2025年第15週（4/7～）より開始しました。（参考：https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/topics/ari/ ）

※2 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2026年第36週（8/31～）の集計です。

インフルエンザ情報（富山県の型別患者報告状況）

このデータは、定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
現在、下の表によると、A型が90.1%となっています。

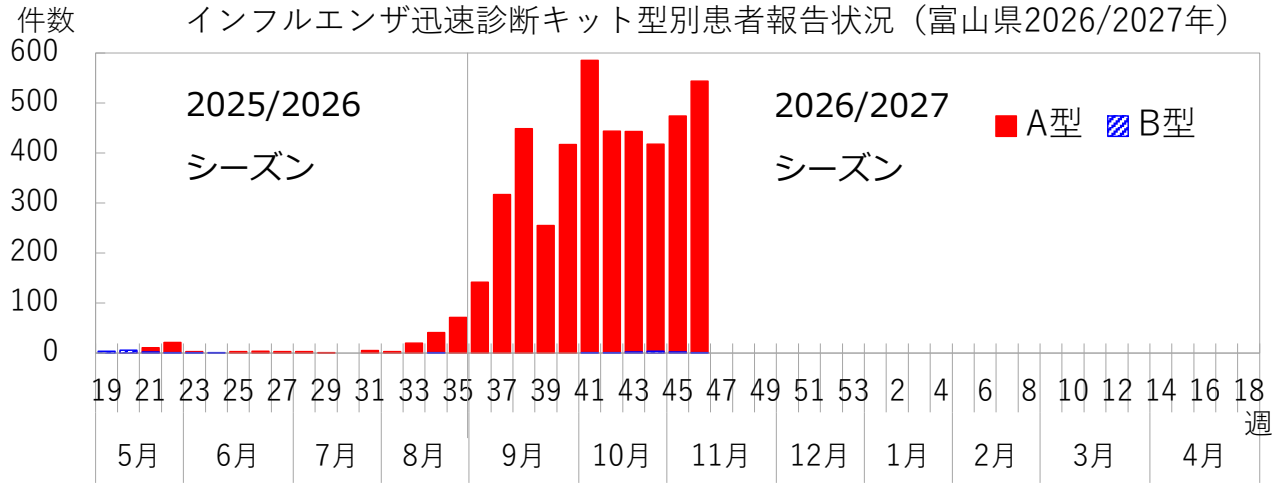
第46週（11/9～11/15）：富山県　12.58人/定点

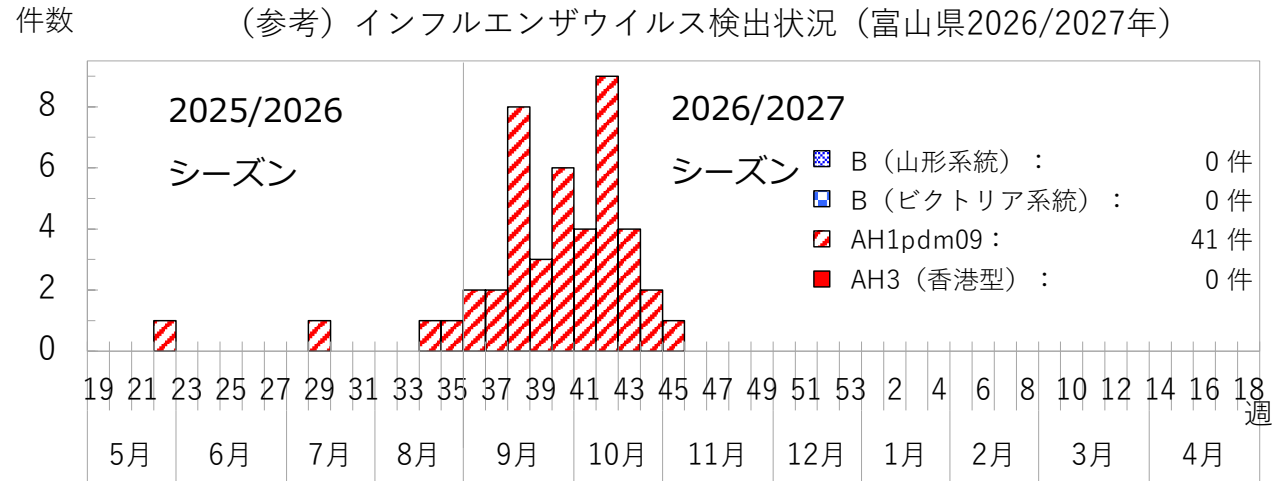
（単位：件）

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他※2	合計
		A型	B型		
新川	6 /7	65	0	9	74
中部	5 /5	55	0	11	66
高岡	13 /13	145	1	10	156
砺波	7 /7	80	0	2	82
富山市	16 /16	199	0	27	226
富山県	47 /48※1	544	1	59	604
富山県累計（2026年36週～）		4,488	11	477	4,976

※1　48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が47か所あったことを示します。

※2　「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。





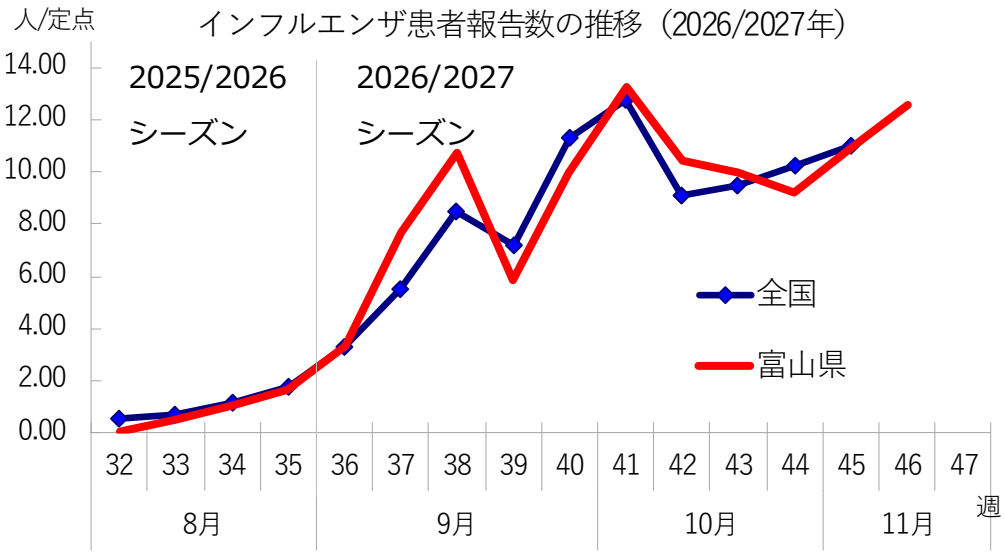
富山県
富山県感染症情報センター（富山県衛生研究所内）
TEL：0766-56-5431（直通）　HP：https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/
TEL：0766-56-8143（ウイルス部）

インフルエンザ情報（全国、富山県の患者報告状況）

● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況　第 46 週（11/9～11/15）

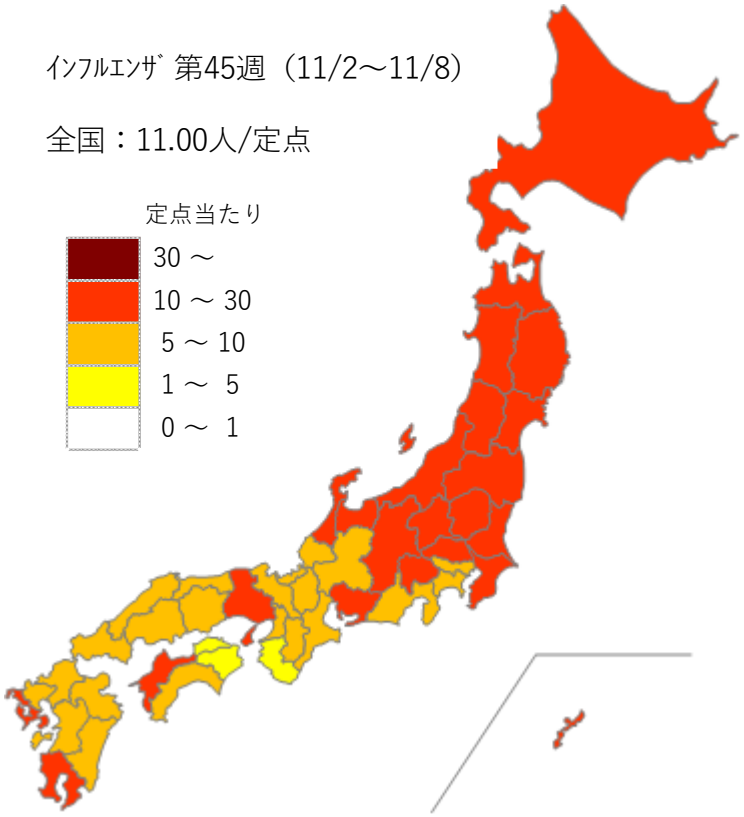
富山県　12.58 人/定点［新川（10.57）、中部（13.20）、高岡（12.00）、砺波（11.71）、富山市（14.13）］

県内の患者報告数は今週 12.58 人/定点となり、先週（10.92 人/定点）から増加しました。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況　第 45 週（11/2～11/8）

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 11.00 人となり、前週の 10.26 人より増加しました。34 都道府県で前週より増加しています。13 県で前週より減少しています。



都道府県	人/定点		都道府県	人/定点	
北海道	28.32	↑	滋賀県	9.05	↑
青森県	19.79	↑	京都府	9.56	↑
岩手県	19.74	↑	大阪府	5.97	↑
宮城県	18.45	↑	兵庫県	10.47	↓
秋田県	16.56	↑	奈良県	7.55	↑
山形県	18.36	↑	和歌山県	4.91	↑
福島県	21.08	↑	鳥取県	5.79	↑
茨城県	11.24	↑	島根県	9.30	↑
栃木県	15.19	↑	岡山県	8.80	↑
群馬県	10.09	↑	広島県	8.24	↑
埼玉県	16.34	↑	山口県	7.49	↓
千葉県	11.84	↑	徳島県	4.82	↑
東京都	7.44	↑	香川県	3.96	↓
神奈川県	9.49	↓	愛媛県	17.71	↓
新潟県	15.71	↑	高知県	5.67	↓
富山県	10.92	↑	福岡県	8.37	↓
石川県	12.49	↑	佐賀県	8.67	↑
福井県	8.62	↑	長崎県	13.26	↑
山梨県	12.30	↑	熊本県	7.79	↓
長野県	12.44	↑	大分県	6.76	↓
岐阜県	6.18	↑	宮崎県	5.74	↓
静岡県	7.78	↓	鹿児島県	12.25	↓
愛知県	11.12	↑	沖縄県	10.52	↓
三重県	7.78	↑	**全国**	**11.00**	↑

富山県
富山県感染症情報センター（富山県衛生研究所内）
TEL：0766-56-5431（直通）　HP：https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/